

新花巻図書館整備に係る市民意見交換会（リモート開催）

■日 時 令和3年2月6日（土） 10：00～12：15

■参加者 14人

（○生涯学習課 菊池）

予定の時刻となりましたので、新花巻図書館整備に関する意見交換会、リモート開催を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

初めに、本日のタイムスケジュールを皆様にお伝えしたいと思います。10時から開会いたしまして、現在、タイムスケジュールを確認中ということになります。最初5分間くらい、リモートの操作等も含め、説明をさせていただきます。そのあと、新花巻図書館の整備について、市川部長からご説明させていただきます。おおよそ35分間くらいの説明になります。なお、本日は、説明の市川生涯学習部長、それから、建設部の遠藤部長、生涯学習課の佐々木課長、花巻図書館の梅原館長にも同席をいただいております。説明は、パワーポイントの説明資料を皆さんの画面に映しながら説明していきます。そのあと10時40分頃からになりますが、意見交換に移ります。自由に順番でと表示しておりますが、手挙げ機能というのがありますので、後で説明しますが、手が挙げた順番でご質問などいただき、意見交換していきたいと考えております。できるだけ皆様の声を聞いていきたいと思っておりますので、ぜひご発言をお願いします。意見交換ですが、時間はおよそ1時間程度考えておりますが、最大でも、12時には、お昼には終了したいなと考えておりますので、ご協力のほどお願いいたします。

次に、リモートの操作についてご説明いたします。まずはパソコンでの操作です。3段で表示しておりますが、上段の表示です。皆さんの画面の恐らく下のほうに表示されると思いますが、左のほうから、時間、次がカメラのオンオフ。次が、マイクのオンオフ。真ん中の二つは、今回はこちらのほうで操作いたします。次に手のマークがありますが、こちらが手挙げのボタンになります。これを押しますと、手を挙げましたという合図になりまして、こちらのほうで手が挙がるのが分かる仕組みとなっております。次に、チャットのボタンです。キーボードから質問が入力できるという機能です。その隣に人が2人並んでいるようなボタンがあります。こちらは参加者を表示するボタンです。このボタンを押しますと、画面の右側のほうに、今どのくらいの人が参加しているか、表示になります。最後、赤いボタンですが、切断ボタンです。これを押しますと、この会議から抜けてしまいますので気をつけていただきたいと思います。次に、スマートフォンの操作です。ボタンの表示と機能はパソコンと一緒に、違うところは、その他操作というところの中に、チャットや参加者表示のボタンが入っています。

最後に、注意事項と確認です。先ほども申し上げましたが、質問、ご意見などあるときは、手挙げボタンを押しますと、こちらのほうで分かる仕組みとなっております。そして、マイ

クをオンにしてご発言をお願いいたします。ご発言が終わりましたら、マイクはオフにすることを協力ください。なお、参加者のマイクですが、こちらのほうでオンオフを操作する場合がありますので、ご了承ください。意見交換が終了、または途中で退席される場合ですが、切断ボタンで退席になります。間違って退席、または、回線の不具合などで突然通信が切れてしまうということがあるかもしれませんが、その際は、招待メールのリンクから、もう一度参加をお願いいたします。以上で注意事項となります。

申し遅れましたが、進行しております私は生涯学習課の菊池と申します。それから、リモートの操作スタッフとして、生涯学習課の職員が数名で対応しております。よろしくお願いいたします。

それでは、早速ですが、説明のほうに入らせていただきます。新花巻図書館整備について、市川生涯学習部長からご説明をさせていただきます。ただいま画面を切替えます。はい。それでは市川生涯学習部長、お願いいたします。

(○市川生涯学習部長)

はい。生涯学習部の市川です。今日はよろしくお願いいたします。また皆さん、今日は新花巻図書館の市民意見交換会に参加いただきまして大変ありがとうございます。

今回の市民意見交換会は、これまでの図書館の建設に際して、議員の皆さんや、教育委員を初め、社会教育委員、図書館協議会の皆さんなどからの意見を踏まえまして、市で検討してきた状況と、昨年7月から10月にかけて開催してきた市民ワークショップについてご説明し、市民の皆様と新しい図書館について意見交換をしたいと考えているものでございます。当初は、昨年11月末から12月にかけて、意見交換会を開催するように、市広報でもお知らせしておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大により延期しておりました。一堂に会しての開催が厳しい状況が続いたため、今回、オンラインで開催をしたものです。ワークショップに参加された方も、今日参加いただいておりますが、説明が重複することなどご了承をお願いいたします。

それではまず、新花巻図書館整備のこれまでの経緯をご説明いたします。現在の花巻図書館は、昭和48年の開館で、今年で47年となっております。閲覧スペースは、2階にあります。スペースが狭いこと、また、エレベーターがないなど、利用しづらいという課題がございました。また、利用年齢層を見ますと、50代以上が7割、利用頻度も月に3回以上の方が約8割という状況です。また、交通手段を見ても自動車が76%、公共交通利用者は3%と少ない状況です。つまり、自動車で行かなければ行きづらいという点、利用者が限られているなどが課題ととらえております。そこで、生涯学習の拠点はもちろん、市街地再生の核としても新しい図書館の整備が求められてきたというものでございます。

平成23年12月には公共的団体や、図書館関係者、公募委員による図書館整備市民懇話会が設置されました。懇話会でワークショップ等を行いまして、翌24年10月には、花巻図書館への提言を提出しました。その提言に基づき、平成25年5月には花巻中央図書館基本

計画を策定いたしました。この計画は、花巻厚生病院跡地を整備候補地にしたものでしたが、平成 26 年 3 月に、その場所の土壌汚染が県から発表されまして、結果として図書館整備が中断いたしました。

このような中まちづくりを再検討し、平成 28 年 6 月には、市街地定住を促進し、都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」を定め、花巻厚生病院跡地には総合花巻病院が移転することとなりました。平成 28 年には、24 年に市民懇話会から出されました花巻図書館への提言に基づき、新しい図書館整備に向けた構想を再構築し、パブリックコメント等を経て、市民説明会を開催し、平成 29 年 8 月に新花巻図書館整備基本構想を策定いたしました。

それではその基本構想とはどのようなものかですが、基本構想において、基本方針として、前段で、本市は宮沢賢治や萬鉄五郎をはじめとした多くの先人を輩出、江戸時代の先人を顕彰した鶴陰碑に記された人々は自らの研さんに精進し、学術文化はもとより、地域や産業の振興と発展、後継者の育成に努力、花巻には歴史的に学びの風土があり、この精神は次の世代に受け継いでいくべき。そして、新しい図書館は、市民一人一人の生活や活動を支援することを基本的に考えながら、先人が育んできた学びの精神を受け継ぎ、図書館が次世代を担う子どもの読書活動を支援し、豊かな心を育てる施設として、また、情報を地域や産業の創造に結びつける施設として、まちや市民に活力と未来をもたらす図書館を目指して、次の三つを定めています。

- ・郷土の歴史と独自性を大切に、豊かな市民文化を創造する図書館
- ・すべての市民やが親しみやすく使いやすい図書館
- ・暮らしや仕事、地域の課題解決に役立つ知の情報拠点としての図書館

そして、整備方針として、施設に関すること、蔵書資料に関すること、運営に関すること、サービスに関すること、に分類して項目立てをしており、例えば施設に関することのうち、ユニバーサルデザインについては、「子供から高齢者、障がい者、あらゆる利用者がバリアフリーで働きやすい、機能的、効率的な動線に配慮し、利便性や安全性を重視した施設とします。」と書いており、具体的な内容は、基本計画において示す予定としております。

次に建設場所の方針については、基本構想の中で、利用者が利用しやすい場所で、交通アクセスがよくわかりやすく、市全域から行きやすい場所で、十分な駐車場の確保できる場所。市街地再生に資する施設として、まちづくりや都市計画に整合した場所。市街地定住を促進し都市機能を誘導する「花巻市立地適正化計画」の都市機能誘導区域内、後ほどご説明いたしますが、その区域に整備し、近隣施設との連携、他施設との複合化など、民間との連携も含めて検討し、候補地を数か所選定した上で、基本計画において場所を定めるとしてあります。

また、事業費についても可能な限りコスト削減に努め、まちづくり総合計画や財政計画も踏まえ、建設後の運営費や図書購入費、職員体制などの経費も十分に考慮して今後計画を進めると示しております。

次に、整備候補地の検討状況についてご説明します。整備候補地については、基本構想において示していた「花巻市立地適正化計画」の都市機能誘導区域というのが、この図の青い線の線内の区域になります。この区域内に建設する場合には、国の補助金が受けられる可能性が高く、その場合、国の定めにより、都市再生整備計画を提出すれば、最大で10億5000万円の補助が可能というものです。

候補地を検討してきたこれまでの背景としては、「花巻市立地適正化計画」、先ほど来申し上げておりますが平成28年6月では、都市機能誘導区域における事業として、まなび学園周辺への移転を検討していました。新花巻図書館整備基本構想、29年の8月策定では、建設場所に係る方針として、都市機能誘導区域に整備と決めました。そして、花巻市図書館複合施設等整備方針検討業務報告書、UR報告書、都市再生機構というところをお願いいたしました調査ですが、これにおいては、都市機能誘導区域内のある程度まとまった土地として、花巻駅東口周辺とまなび学園周辺を挙げて候補地として検討したりしたという経緯がございます。

次に、新花巻図書館複合施設整備事業構想です。この構想は、昨年1月29日に市議会にご説明し、公表したのですが、花巻駅前のJR東日本が所有する用地、スポーツ用品店の場所ですが、50年借りて新しい図書館と複合施設を建設しようとする構想です。図書館は市が所有し、複合施設部分の賃貸住宅、テナント等は特定目的会社を設立し、それが所有するという構想でした。このような複合施設を整備してはどうかという構想でありましたが、駅前の活性化、市街地定住人口の増加にも資すると考え、検討してきたものでしたが、この構想については、事業の具体化のためには、外部の専門家をお願いして調査する必要があり、公表いたしました。反対の意見が多数あり、調査のための予算は計上しておりません。したがって、具体的には全く決まっておりました。この賃貸住宅の建設については、市民の理解が得られないと考えており、検討を進めることは今考えていないという状況にあります。

次に、整備候補地の検討経過状況です。整備場所については、新しい図書館整備に当たって重要な視点、そして、これまでも市議会で候補地をご説明してきており、新聞等でも報道されてきたところです。まず、駅東口周辺、JR用地、スポーツ用品店敷地については、平成30年の12月市議会において、花巻駅東口周辺のJR所有地を有力な候補地として、JR東日本と具体的な条件について協議するとの方針を示しました。翌年12月にはJR東日本からは土地を賃貸借する方向で協力したいとのことから、賃貸借の条件を協議しているということ市議会において答弁いたしました。その翌年の1月末には、先ほど申し上げた複合施設の整備事業構想を公表し、50年間定期借地の方針を示されたところであります。このような状況のなか、この構想については反対意見がございまして、場所自体に反対、まなび学園等の場所が望ましいという意見、土地賃貸借について反対、賃貸住宅との複合化について反対の意見がありました。

そこで、場所としてはJRの用地あるいはまなび学園の周辺、賃貸住宅等の複合化あるいは

は図書館単独か、土地の定期賃貸借あるいは土地所有が課題として考えてきた中、現状としては、令和2年12月、花巻市議会の新花巻図書館整備特別委員会においての報告を踏まえまして、図書館については、大規模な複合施設ではなく、カフェを併設したぐらいの単独の図書館とし、敷地については、市が土地を所有するという方向であり、駅前については、JR東日本盛岡支社は、協議に応じていただけるという意向を示されています。

一方で、まなび学園の周辺については、UR、先ほどの都市再生機構が行った調査から、現況と課題として、まなび学園は、耐震改修がされているが、老朽化が進んでおり、いずれ建て替えが発生する。総合花巻病院跡地やまなび学園等を含めた土地活用の在り方が検討必要だということ。総合花巻病院跡地には、急傾斜地の崩壊区域が指定されており、高低差の改善や有効平場の確保など、造成計画の策定及び造成工事が必要になること。交通アクセスの確保、バスや歩道整備など道路に課題がある、というふうに指摘され、それらを検討してきたという状況でございます。この状況を踏まえながら具体的に検討してきた候補地を図面で説明いたします。

まずはまなび学園の前でございます。生涯学園都市会館、まなび学園の前の今の駐車場と芝生広場に建設した場合です。図書館の建物は、現時点では、床面積が4,500平方メートル。できるだけ階数を低くし二階建てでできるような配置を検討してきたものです。この床面積は、前回の計画、平成25年に定めた花巻中央図書館基本計画の際の床面積が4,300から4,600平方メートルとしておりますし、最近整備された一関図書館の床面積も約4,700ほどであり、それらを参考に想定したというものです。駐車場は主に総合花巻病院跡地を想定しておりますが、台数はこのようにとることが出来ますし、駅からの距離も11分ほどという距離です。造成等もかかりますけれども、開館見込みは、ここの場所ですと、令和8年4月に開館見込みとしているものです。

次は、参考としての図面ですが、先ほどもURの調査報告書でもご指摘いただいておりますが、まなび学園を解体したとき、まなび学園の建物は、今後20年程度利用できるような改修をしておりますが、そのあと解体するということになろうかと考えております。そうしたときに、北側が空いてしまうということがあるので、全体としての利用をやはり考えるべき場所ではないかという課題を持っているというものでございます。

次に、まなび学園の体育館の場所というものです。今のまなび学園の体育館と、その南側の旧営林署があった場所です。その営林署の跡も含めて、体育館を壊して図書館を建ててはどうかという案です。ただ、メインの駐車場は少し離れた病院の場所になってしまうというところもあります。図書館の近くには、駐車場は一部整備できるかなというふうに思っております。また体育館が、利用率が今90%以上ということで利用率は高くなっておりまして、体育館を解体する場合は、これに代わる体育館が必要ではないかというふうに考えております。

次は、総合花巻病院跡地に建設した場合。北側に配置しております。総合花巻病院の南側

は既存の建物がありまして、これを解体した際に地下まで掘削されることになって、その場所に建物を建設するのは適さないと考えておりまして、北側の平らな場所に建設するのはどうかという案でございます。駐車場と、駅までの距離も13分程です。駐車場の台数も確保出来ます。ただ、造成等がありますので、開館見込みは、令和9年4月かと計算しております。

次に道路について、少し課題があるとお話ししましたが、道路についてご説明いたします。まなび学園周辺に図書館を整備する場合については、駅方向からの徒歩や自転車での利用を考えると、安全確保の観点から、大通りから東側に向かう道路、歩道整備や拡幅が必要と考えております。具体的には、都市計画道路城内大通り線、黄色い線です。これは万代橋から合同庁舎への直線の道路で、計画上ある道路で、今はまだありません。この道路は、新しい橋梁の建設や交差点改良などの整備が必要となりますが、この道路を建設した場合、現在使われているファミリーマートから幸橋までの道の北側の方との取付けなどに、少し課題がありまして、交差点の交通処理、橋梁前後の道路勾配、また、事業費も膨大で現実的ではなく、整備が困難と考えております。よって、現在の市道城内大通り1丁目線、これ赤いラインなんです、コンビニの交差点から幸橋を通過して合同庁舎への道路です。これを、拡幅して歩道を整備するという方法が現実的というふうに考えております。ただし、この工事にも8年以上かかると見込んでおりまして、図書館ができるよりも少し時間がかかるかもしれないという状況であります。

次に、JR用地、スポーツ用品店の敷地の場合です。多目的広場を公園に整備して、スポーツ用品店の場所に建物を建てるという案です。この場合、駐車場は立体駐車場の整備が必要になります。立体駐車場は狭くて駐車しづらいという意見もいただいておりますが、例えば1階は高齢者、障がい者、乳幼児等の子ども連れの方向けというふうにしまして、駐車スペースを広く取るなど、また、自転車や二輪車の駐車スペースも1階に取るなど、利便性を高めることはできるのではないかというふうに考えておりますし、降雪や降雨の際にも、立体駐車場の1階部分、2階もそうでしょうが階下部分は濡れないし、除雪しなくてもいいなどの利点もあろうかなというふうに考えているところです。ただし、JRと土地利用、売買または賃貸について合意する必要があります。また、ここではなはんプラザとかホテルとの機能分担なども考えていかなければいけないという考えを持っております。この駐車場、立体駐車場の1階を、通常柱の間に3台自動車を駐車させるところを、1階部分は2台として高齢者向けにするとか、そういうようなことも、現在検討してきたというものでございます。

次に、そのほかの候補地についても検討してきております。これまでも、議会、あるいは各団体等との意見交換でも紹介してきておりますし、ワークショップでもご説明はいたしました。営林署跡地に建設した場合、営林署跡地だけではスペースが狭いというふうに考えておりまして、先ほどの体育館も含めたいろんな案となってきたというものでございます。あと花巻駅南駐車場、なはんプラザの東側の駐車場です。この市有地ですが、そこに建設してはどうかというのを考えてきましたが、場所的に少しスペース不足ということと、駅やホ

テルに1番近い駐車場です。現在60台の駐車スペースですが、これをなくすることは出来ないというふうに考えております。仮に1階を駐車場にして2階以上を図書館とするという場合も駐車場としては30台ほどしか確保出来ません。乳幼児連れや高齢者等を考えたとき、やはり1階から図書館にしたいというふうに考えておりますので、我々としてはこの場所は難しいと考えたものでございます。

次に、図書館のランニングコストです。毎年どれぐらいかかっていくかという経費も計算検討しているところでございます。今の花巻図書館の令和2年の予算で見ますと、8,300万円ほどでございますが、現段階で新しい図書館を想定する規模で建設した場合、一関図書館等を参考に計算したところ、約2億弱、年間経費がかかる。図書の購入費なども入れてのことですが、それだけかかるのではないかというふうに計算しているものでございます。

それでは次に、図書館ワークショップについてご説明いたします。昨年3月の議会で、シンポジウムやワークショップを開催して、今年度は新花巻図書館整備基本計画を策定するというふうに公表しておりました。シンポジウムにつきましてはコロナウイルスの影響で断念し、ワークショップも遅れておりましたが、7月から10月に、開催することが出来ました。新花巻図書館整備基本計画の素案を策定するためのワークショップとして、皆さんからのアイデアを出していただき、意見交換をしたものです。富士大学の経済学部教授、図書館学の早川光彦先生にアドバイザーとしてご指導をいただきました。早川先生は、南相馬市の図書館、一関市の川崎図書館の開設にかかわり、図書館の専門家でありまして、全面的にご助言をいただいて、ワークショップでも皆さんに指導をしていただいたという形です。まず高校生・20代につきましては、第1回に37名、第2回に36名の方の参加をいただきました。1回目は早川先生の講演の後で、グループワークでアイデアを出し合い、第2回では、それらに基づいて、本・資料・サービス、環境・空間、場所に整理して、アイデアをまとめて、班ごとに発表してもらいました。若い人たちの感性ですぐれたアイデアが出されたと考えております。

一般編では、参加者は一般公募の方10名としておりましたが、申込みが12名いらっしゃいまして、全員とそして各関係団体から推薦いただいた方10名、そして3回目からの参加ですが、高校生・20代の方18名も加わった形でワークショップを行いました。1回目は「図書館の可能性」ということで、早川先生の講演、花巻図書館と東和図書館を見学していただきました。2回目は「みんなでおさらい基本構想」ということで、先ほどご説明いたしました、基本構想について説明し、図書館でやってみたい、やれる、求められている、譲れない、などについてグループワークをいたしました。3回目は、前回のアイデアを本・資料・情報、運営・サービス、建物・環境・施設・家具に分類し、それをもとに各班で重点を考え、発表をしてもらいました。この回から高校生・20代の方も参加してもらっています。そして第4回のワークショップでは、これまでのグループワークで検討してきた理想の図書館についてのアイデアを新花巻図書館整備基本構想の項目ごとに分類してもらいました。その一例といたしましては、蔵書資料に関することについては、実用的な本、ライトノベルや

雑誌など世代のニーズに合わせた本、利用者が選書した本を紹介するなど、利用しやすく資料をリクエストしやすい環境、観光、市民生活、産業、歴史等、花巻市を知るための情報の収集、提供、花巻を訪れた旅行者が立ち寄って、多くの偉人をワンストップで見ること、知ることを可能にする。ゲームや漫画など、いろいろな資料、読み上げ機能や拡大機能を含む障がいがあっても、誰でも閲覧できるなどの意見がありました。

施設に関することについては、Wi-Fiを完備、休憩のできるカフェスペース、利用者の年齢に応じて、本棚の高さを変える、お年寄りや身障者等でも利用しやすいよう通路幅を広く、緑を感じる建築で、屋上庭園とか中庭、ロボットやタブレット等の最先端技術、SLが見える1番のスポットとして整備、賢治の作品をモチーフとした花巻らしい図書館、などの意見が出されております。

第5回のワークショップでは、これまでのワークショップで検討してきた理想の図書館について整備する場所も、考えていただきました。まなび学園周辺、駅周辺、そのほかの建設場所、それぞれのメリットデメリットを洗い出し、検討していただきました。7つのグループのうち、駅前がいいという意見にまとまったグループは1つ、まなび学園体育館がいいとまとまったグループは1つありました。そのほかは、どちらにもメリットデメリットがあり、また、これまで検討してきた理想の図書館は、どちらの場所でも実現可能ではないかななどの意見がありました。まなび学園周辺のメリットとしては、花巻小学校花巻城跡が近い、まなび学園やこどもセンターなどとの連携、緑が多く自然を感じられる、静かで過ごしやすい。デメリットとしては、周辺が暗く、夜間が心配、道路が狭く入り組んでいる、バス利用が難しい。

駅周辺のメリットは、若い人の行動範囲にある、SL銀河が見られる、夜も周辺が明るい、観光客や車のない人も利用できる。デメリットとしては、立体駐車場が狭い、まなび学園と比較して周辺に緑が少ない、駐車場と図書館が離れているといった意見が出されております。

なお、まなび学園周辺、駅周辺以外の案として、イトーヨーカ堂東側の空き店舗、駅西口ホーム、材木町公園や北東金属のグラウンドなど、東公園新興製作所跡地、花巻市交流会館の意見がありました。

第5回のワークショップには32名の方が参加してくれましたが、ワークショップ終了後にアンケート調査を実施いたしました。アンケートには28名の方からご回答をいただいたところです。回答者の年代ですが、30代が1名ですが、そのほかは、数名、複数名で、参加、回答いただいてまして、おおむね各年代がそろっているというふうに考えております。居住地域は花巻地域が多くなっております。図書館の建設場所はどこが望ましいか、お聞かせください。一つだけ選択ということでお尋ねいたしました。まなび学園周辺では、まなび学園体育館の場所が6人、まなび学園が2人、花巻営林署跡地が1人、総合花巻病院跡地が1人、ということでありまして、全部で10の方がまなび学園周辺を選んでおります。花巻駅周辺地域では、JR用地、スポーツ用品店敷地が11人、花巻駅南駐車場が3人という

ことであり、合計 14 名の方が花巻駅周辺を選んでおり、その他が 4 人ということであり
ます。

なお、市では、J R 花巻駅に隣接した複合施設の構想を出しておりましたので、特にその
スポーツ用品敷地に絞った質問もいたしました。スポーツ用品店敷地について、市民から反
対意見が出てますということを説明しつつ、花巻駅周辺のスポーツ用品店敷地についてご
意見をお聞かせくださいという質問をしております。その回答といたしましては、J R 用地、
スポーツ用品店敷地はそもそも反対という方が 5 人、J R 用地、スポーツ用品店敷地は 50
年の定期賃貸借でも賛成という方は 12 人、J R 用地スポーツ用品店敷地はよいが、定期賃
貸借に反対という方が 10 人。この 10 人の方の内訳でございますが、市が土地を所有する
こととすれば良いが 6 人、わからないが 2 人、そのほか、無回答が 1 人ずつということであ
ります。図書館の施設形態を説明したところ、複合図書館が良いが 18 人、単独図書館が良
いが 9 人、その他が 1 人、複合図書館がよいとした場合の必要な施設については、複数回答
可能でしたが、カフェが 15 人で多い回答でありまして、市が複合施設構想として 1 月にお
示した賃貸住宅と併設という案につきましては、アンケート結果では 1 人もいらっしや
らなかったということでもあります。

ワークショップは市民の皆様新しい図書館にいろいろな観点からご検討いただく機会
となりまして、大変有意義な場になったというふうに考えております。市といたしましては、
今後、今回いただいた意見を参考にしながら、図書館整備基本計画試案の作成に努めている
ところでございます。ただ今回のワークショップの結果のみに基づいて、直ちに場所や複合
施設の形態について決めるということではなく、図書館整備基本計画試案の作成にあたり、
市民の皆さんとの意見交換が必要だと考えておりまして、冒頭に申し上げましたが、11 月
末から 12 月にかけて意見交換を開催したいと考えておりましたが、コロナウイルス感染症
の影響で少し遅れておりまして、現段階でも会場で多数が参加するような意見交換会を開
催する状況に至っていないと考えまして、本日のように、オンラインでの意見交換会を 3 回
開催したものです。このほかに各種団体との意見交換も予定し、これから行っていきたいと
考えております。建設候補地も含めまして、市民とのコンセンサスを得ていきたいと考えて
おりますが、その上で、基本計画の素案ができ上がれば、3 月 4 月には市民参画手続に入る
計画ではありましたが、既に数か月遅れているという状況であり、それが十分なコンセンサ
スが得られないということであれば、3 月 4 月に市民参画をするということにこだわらず、
十分時間をかけて、皆さんの意見を聞きながら進める必要があるというふうに考えており
ます。以上で説明を終わります。ありがとうございました。

(○生涯学習課 菊池)

はい。市川部長。ご説明ありがとうございました。ここからの時間ですが、意見交換とい
うことで、進めさせていただきたいと思います。
本日も、最初に、事前に質問を何件かいただいております。本日もご参加をいただいております。

ます方から質問等をいただいておりますが、最初にこちらのほうで質問を読み上げまして、それに対して、回答をしたいと思います。そのあとに皆さんで自由に意見交換していただきたいと思います。

まず一つ目です。本日も参加者の方から一つ質問をいただいております。私のほうで読み上げます。事前の意見としてということでもずいいただいておりますが、図書館建設ありきではなく、新図書館はつくらないという選択肢も検討していただきたい。図書館の必要性を感じている花巻市民は少ないと思われ、見たい本は、分館や盛岡、近隣の図書館から本を借りることができる。図書館建設への優先順位が低いのであれば、限られた資力が必要なところに使い、今の状況や意識の中で施設を建てても、いずれ単なる箱物になってしまう。全国に図書館がない市は幾つかあり、電子書籍やインターネットの利用により、図書館の常識が変わる可能性もある。幼児や子どもへのサービスなどの図書機能は必要最小規模にして、市や市民全体に関心や、機運が出た時期に再検討すればいいと思う。その代わりに、文化学習におけるワンストップサービス型の情報集約、提供の拠点となる情報発信センターは必要だと思う。ということ踏まえまして事前の質問です。1つ目です。上田市長の図書館の在り方やビジョンなど、考えを教えてください。市の文化事業は、首長の意向や熱心度により差が出てくる。コミュニティーセンターや市長室での懇談会で市民の文化活動や先人への顕彰について考えを伺ったことがあるが、優先順位や関心は余り高くないと感じた。図書館の施主としての考えを市民が知る必要があると思う。これが1点目です。2点目です。前回の意見交換で、建設準備委員会か整備プロジェクトチームがあると初めて知りました。メンバー構成、建設計画決定までのフローや予定日程を示してほしいというのが、2点目のご質問が来ております。今のような質問いただいておりますが補足などありましたら、お願い出来ますでしょうか。

※質問された参加者の表記について、今回の意見交換会に複数回ご参加いただいている方もいるため、第1回～第3回の参加者を共通の番号で表しておりますので、ご了承ください。

(○参加者1)

はい。図書館建設がなくてもいいのではないかと、乱暴なあれですけど、前回の意見交換会で振り出しに戻した方がいいのではないかと、という方もいらっしゃるんですけど、まずそうしてみてもいいんじゃないかなと、急いで作る必要はないんじゃないかなと。意見はいろいろあるんですけど、そちらは時間があればいいです。

やっぱり首長の意向が一番左右されると思うんです。市長が熱心なところは進むし、そうでないところは進まない、優先順位があると思うんですけど、そのお考えをお聞きたいということと、プロジェクトチームがあるのであれば、今日出席されているかどうかを聞きたいし、どういう方が構成になっているのか、その方たちが中心になってやるのであれば、そ

ろそろそういう方がメインになって検討してほしいなということで、質問しました。以上です。

(○市川生涯学習部長)

はい。お答えをいたします。

図書館の必要性といいますか、その関心が低いんじゃないかっていう、ご指摘はいろいろいただいております、そういう中にはありますけども、これまでお話ししてきたとおり、新花巻図書館の整備基本構想、29年の8月に定めておまして、これはパブリックコメント等も経て、市が決定したものであります。つまり、市民の意見を聞きながら、市長が決定したものです。その中で、図書館の役割も生涯学習の観点から高まっているし、まちづくりの観点からも必要な施設であるというふうに書いてます。新しい図書館の整備が必要になってる、ということは書いておりますし、市議会の特別委員会がございまして、図書館について検討していただきましたが、やはり市民からの図書館整備、求める声大きい、というふうに報告されておりますし、そのような中で、市長も図書館建設について、かなり力を入れてやってきてると考えております。我々も力を入れて、皆さんと一緒につくっていききたいということで、このように頑張っているつもりであります。

あともう一つプロジェクトチームということについてですが、新花巻図書館の整備推進プロジェクトチームというのは平成31年の1月に発令されています。市の内部の組織であります。その発令当時のプロジェクトチームのリーダーは私です。生涯学習部長、あと副リーダーが生涯学習部の生涯学習課長と建設部の都市政策課長。そのほかにメンバーとして、生涯学習課の課員、都市政策課の課員、花巻図書館館長、市の財務担当、建築の技師等が入って図書館を検討してきたというのがプロジェクトです。

令和2年1月からは、統括プロジェクトマネージャーといたしまして、藤原副市長を配属しておりますし、同じく、長井副市長にも会議に入っていただくような形でプロジェクトマネージャーとして発令しております。プロジェクトリーダーは、引き続き私がやっております。私と、新たに遠藤建設部長もプロジェクトリーダーです。メンバーは、前回同様、生涯学習課、都市政策課、また、建設部の職員とかですね、花巻図書館の職員、図書館長も入って構成し、検討してきたというものです。以上でよろしいでしょうか。

(○参加者1)

わかりました。まちづくりリノベーション構想ってありますよね。こちらには副市長さんは参加されているんですが、今回のようなワークショップなりこちらの意見交換会には、副市長さん格の人は出ているのかどうなのか、優先順位としてちょっと僕は市の姿勢に疑問を持っております。あと、昨日花巻図書館に行ったんですが、ずっと前から言ってるんですけど意見交換会のチラシやポスターが置いていないんですね。前にも僕言ったんですけど、職員の方も聞いてないって言うし、上下の意思疎通ができていないと言われたんですよ。図

書館さんとか生涯学習課さんの方がこの意見交換会に市民の方いろんな方集めて呼びかけている姿勢があるのかどうかというのが疑問なわけですよ。わたしはそういう気持ちで意見言いました。以上です。ありがとうございました。

(○市川生涯学習部長)

ありがとうございます。副市長がいないから力が入ってないということは全くございませんし、あと今ご指摘のとおり、PR不足だったっていうところもあるかもしれません。いろいろホームページ、あるいは関係者にお知らせしたりなどもしておったんですが、そこもまた課題として、検討させてください。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございます。続きまして、もうお一方提案とかですねいただいて、ちょっとたくさんいただいておりますので、すいませんちょっと要約してお伝えしたいと思います、よろしくお願いいたします。

1つ目ですが、図書館の場所は駅前が良いということで、ご意見を伺っております。理由1つということでは花巻駅は、通勤通学で人通りが多い。ここに図書館があれば便利で利用者は増えると思う。

2つ目。花巻は西口に商業施設や住宅が増えている。東口が旧市街、西口が新市街よって花巻駅近くにつくるほうが両方の住民にとって利用しやすい。

3つ目。花巻の高校は、北高、南高、東高、南高東高は駅西口方面であり、高校生にとっても駅前のほうが便利。

4つ目。花巻駅は東西を結ぶ立体交差橋の計画がある。これに合わせて、図書館をつくれば利用者にとって都合がよい。立体交差橋に図書館、なはんプラザ方面の出口をつけて、簡単な屋根をつければ、利用者は雨が降ってもぬれない。

5つ目。花巻病院跡地まで駅から歩いてみたが10分かかる。道路も狭く、歩行は危険、特に雪道は歩行者の通路もない。照明もない、道路の拡幅と照明の整備が必要。矢巾や紫波中央駅のように再開発したところは、住宅や商業施設の進出など経済的な相乗効果を期待できる。旧花巻病院前の道路を整備しても、それは期待出来ない。

6つ目。図書館にあわせて立体駐車場をつくるのは賛成。花巻駅は駐車場がないので不便。送迎のとき東口は駐車が難しい。立体の市営駐車場をつくれば、図書館のみならず送迎にも便利と思う。ということで駅前の提案をいただいておりますし、さらに、もうちょっとということによっていただいておりますのでそちらもご紹介したいと思います。

昨年、新花巻図書館の構想が発表になり良い提案だと思った。しかし、議員が反対して立ち消えしたとのことですが、この理解でいいでしょうか。図書館は公共施設であり、そこに民間を入れるのはふさわしくないと考えたと推察します。県立図書館は、駅前のアイーナの中にあり、隣接のマリオスとあわせて、公民館、イベント会場、図書館が一体で運営。コン

ビニやレストランが便利、とてもよいと思います。紫波中央駅の前にも図書館とコンビニが併設。このように、公共の建物として新しい施設、商業施設も含めた一体の施設の中に図書館もあるというコンセプトでつくられて、そこで生活する住民の利便性を優先したものと思います。また、遠野市では、民間の商業施設の中に市役所の一部が入っている。市役所で用事を済ませたお年寄りがおかずを買って帰ることができる。北上の駅前の生涯学習会館の中には歯医者、不動産、お土産店、居酒屋、カラオケ店まで入っている。常に多くの人々が入り出し、立地も利便性もよいからと思う。違和感を感じたことはありません。公共のものは公共で、民間のものは民間でという構子定規な考え方は変えるべき。住民の利便性を優先し、必要に応じ、公と民のものを同じ施設に入れるというのは、もはやトレンド、時代の流れではないでしょうか。図書館の建物の一部に民間の住宅を入れる案はなくなったとのこと。なぜ反対したのか、理由は知りたいです。市の議員は、市の課題に対して検討することを仕事をしていると思います。自ら調査し、資料を作成、提案することが求められていると思います。反対の理由を説明していただきたいと思います。ということで思いを寄せていただきまして、まず聞きたいことということで、二つですが、簡単にまとめていただいております。

1つ目が、議員個別の賛成意見、反対意見の内容。2つ目が、平成23年から10年経過していれば、その間の議員の提案内容を聞きたい。ということで、寄せていただいております。ちょっと時間をいただきましたけども、すいません要約してお伝えしたんですが、何か、さらに伝えることがありますでしょうか。

(○参加者3)

パソコンの調子が悪くてね、途切れ途切れなんですけども、思うことを書いて出したんですが、読み上げてくれたとおりです。私はそんなように感じました。

結局ですね、皆さん、私のような一介の労働者から、一流の文化人の方までいろんな方がいるし、老若男女いろんな方がいます。それぞれの立場からものを考えることも大事だけれども、もっと大事なものは、図書館というのは公共物のものなのでいろんな方が利用するんだから、皆さんがどのように便利に使えるのかということとその立場で考えないとだめだと思うんですよ。だからあんまり敷居が高すぎても駄目だし、皆が気楽に利用して、できるものは必要なんだなというふうに思っております。

例えばマルカンの食堂がみんなに惜しまれてまた再開したようですけれども、あんなふうに老若男女、みんなが気兼ねなく利用できる、そういうところがすばらしい。それでも物足りない人は、高級レストランに行ってもいいんだし、あるいは郊外の気に入ったおしゃれなお店やレストランに行ってもいいんだし、それは自由ですから、皆さんが利用しやすいものをつくるにはどうしたらいいのかということ自分の立場で考えるのではなく、一市民の考えとして考えるべきだなというふうにわたしは思っております。

専門書についてはちょっと脱線するので、ちょっとやめますが、一応ということで、意

見を出させていただきました。

(○市川生涯学習部長)

はい。ありがとうございました。ご質問の中で議員が反対したから出来ないのかっていうようなお話ですが特定の議員が反対して出来ないというわけではなくて、議員の皆さんも真剣に考えていただいたと思っておりますし、議会では新花巻図書館整備特別委員会という、その特別な組織を令和2年3月18日に設置して、みんなで考えてきたというのがあります。議員の皆さんも市民との意見交換を開催するなどして、市民の意見を踏まえた上で、昨年12月17日に委員長の報告という形で最終報告出されておまして、それですと、建設場所は都市機能誘導区域の駅周辺かまなび学園周辺のいずれか。ただ、市民の理解を得られるようにというふうに、提言ですし、建設用地は、市の土地、市が所有する土地であるべきだという意見ですし、図書館は単独図書館、そして飲食コーナーは必要だが、単独の図書館というような提言をされております。

新図書館は早期な整備、早く整備してくださいと、多くの市民の声を聞いたと。多くの市民がそのように求めているので、新しい図書館が市民に愛されて、市民の誇りになる、すばらしい図書館が実現するよう提言するというふうにまとめられております。議員の皆さん個別にですね例えば意見なり議会において、どのような質問をしているかなどというものはですね、市議会のホームページでこれまでの議事録というのがあります。新花巻図書館などというキーワードを入れてもらって検索してもらえば、各議員がどのような質問しているかというのがわかります。駅に反対してる、あるいは複合化もいいんじゃないかとおっしゃってる方もありますし、やはりこの観点から難しいんじゃないかとか、個別にいろいろ確認することが出来ますんで、もし必要であればそのようにホームページ等をご利用、ご活用いただければというふうに思います。以上ですありがとうございます。

(○参加者3)

はい、了解しました。私もちょっとそこを聞きますので、ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。手を上げられてましたので、ご発言いただいてもいいですか。

(○参加者4)

最初の方の発言に関係しますが、私も副市長にですね、統括プロジェクトマネージャーですか。それから普通のパネラーということで、副市長2名が、プロジェクトチームを動かしていると思っておりますが、2名の出席を要請いたしました。なんで今日来ないんですか、っていう質問です。

(○市川生涯学習部長)

副市長、統括プロジェクトマネージャー等がなぜ出席しないのかっていうお話ですよ。

(○参加者4)

要請しているんですから。

(○市川生涯学習部長)

今回、我々としては新しい図書館についての市民の皆さんとの意見交換、これまでの流れとワークショップについてご説明して、意見交換をしたいっていうことです。これまでのワークショップも私が代表してやっておりますし、プロジェクトもプロジェクトリーダーとして私がずっと引き続きやってきております。

(○参加者4)

市川さんの立場については十分理解していますし、これまで一生懸命ご尽力いただいたこともきちんと私は見てきました。今の質問は、どうして副市長がこの場にいないのかということでお尋ねしております。一般市民の意見交換に参画する必要がないと判断しているわけですよ。

(○市川生涯学習部長)

これまでわたしが説明してきたわけですね、大体は私答えられるし、1番わかってるのは私だと思っておりまして、私では足りないとおっしゃるかもしれませんが、ご意見を聞きながら、私に取りまとめて、きちんと報告をして、やりたいというふうに思ってるものです。

(○参加者4)

だったら統括プロジェクトマネージャーっていないじゃないですか。何のためにあんなもの置いているんですか。

(○市川生涯学習部長)

プロジェクトマネージャーからもいろいろ意見をいただいてるし、協議してるわけですよ。そういう見識というか。

(○参加者4)

それが、私たちの前には出てこないから直接いろいろ考えをお聞きしたいって思って要請してアンケートに書いたわけですよ。直接、秘書政策課にも電話して長井さんに直訴しようとしたんですが電話つないでくれません。一体何のつもりなのかと思っているんですよ。2

人もいるのに1人ぐらい出てきたらいいじゃないですか。

(○市川生涯学習部長)

ですから、市民との意見交換で、私がこれまでもワークショップとかをやってきておりましたので、私では駄目ですかということなのですが。

(○参加者4)

ちょっと難しい。時間もったいないので私やめます。他の方のご発言あると思いますのでやめます。

(○生涯学習課 菊池)

すいませんありがとうございました。

続きまして手が挙がってるようでしたのでお願い出来ますか。よろしいですか。

(○参加者2)

今の発言を受けて、延長線上の質問だけでも、はっきり言うとななたでは説明不足だから出てこいって言ってるの。わからないの。今ある政策立案過程も含めて。巷では、住宅付き構想というものは上田私案って言われているんだよ。だから、私案当事者の上田東一さんがそういったトップ3という副市長2人が同じリモートでいいから次回3人並んでですね、あなたが補佐していいから、発言を。いわゆる政策立案過程の姿勢・理念を聞きたいの。あなたは、その理念を喋る立場ではないし、残念ながら何も伝わってこないよ。今の経過をずるずるずるずるしゃべっているけれども、つまりもう限界だからトップ3を連れてもう1回リモート会議をなさいということを僕は改めてこの場で要求しております。1回返事をください。

(○市川生涯学習部長)

よろしいですか。今回は、これまで新花巻図書館の整備について、検討してきた経緯をご説明するとともに、ワークショップでこれから、整備計画の試案をつくっていくために、皆さん集まっていたいて、

(○参加者2)

市川くん話の途中で悪いんだけど、そういう話を聞いているわけではないんだよ。途中で割り込んで悪いけど、そういうことを僕は尋ねたのではなくて、今まで3回のリモート会議であなたの説明を聞いた結果、よくわからないと。あなたの説明では。だから、政策立案に直接関わったトップ3、特に行政責任者、首長だよね。さっきも言ってたけど。いわゆる図書館理念をきちんと目の前で聞きたいと。だからあなたが補佐でね、今度は説明、説明員って

いうやつだよ、それで政策立案者いわゆる首長、それとお付きの二人の副市長を連れて改めてリモート会議を開きなさいと要求をしているの。わかりました？

(○市川生涯学習部長)

はい、わかりません。今回はこれまでの図書館について花巻市、冒頭に申しました、いろいろな皆さんからのご意見を聞いて、検討してきた経緯をご説明してます。ワークショップの内容もお話しして、これまでわからない市民の皆さんもいるわけですね。それは説明して、皆さんからのご意見を聞いてこれから整備計画をつくっていききたい、その試案をつくっていききたい。そのために、ご意見をお聞きしたい、というものです。

(○参加者2)

市川くんちょっとあなたよく僕の話を理解してないからもう1回言うけどさ。そうじゃなくって、今まで3回ワークショップやって今までの経過はちゃんと聞いた。何回も聞いたよもう。だから、その上で、これから先、次のステップに進むわけだ。素案作りとか。本格的な計画づくりに。その前に、いわゆる政策決定者たるいわゆるトップ3、1番の首長、その人の図書館理念をきちっと市民の前で説明すべきであると。それ聞かないとまだ判断ができない部分がたくさんありますよと、だから今日であなたの責任でやったリモート会議は終わりだ。改めて、さっき言ったトップ3が画面に出て、僕らからの質問を受けるような形でもう一回別の形のトップ3会議、リモート会議をやってほしいという要望ですよ。要望しているんですよ。勘違いしないでね。

(○市川生涯学習部長)

はい。要望として、それではお聞きしますが、今回の目的は、皆さんからご意見をお聞きしたい。図書館に関するご意見ですよ。これまで経過してきた、構想をつくったり、ワークショップをしてきてるわけですけども、この状況を説明して、ご意見をお聞きしたいというものですので、そこはご理解いただきたいと思います。政策決定過程がどうだというような場ではないので、ほかの皆さんの意見も聞くようにお願いしたいと思います。

(○参加者2)

だから、政策過程に関わるものはあなたたち答えられないから。ところがやっぱり大事なね、どういう思想でどういう理念でですね、こういう計画が運んできたのかどうかっていうのはですね、あなたじゃ無理なの。できないのさ。職掌柄。だからそのトップが出てきて話しなさいと。そういうことを要求しますって要望ですからちゃんとテイクノートしてくださいよ。わかりましたね。

(○市川生涯学習部長)

要望としてお聞きしますが、ほかの方のご意見もお聞きしたいと思います。

(○参加者 2)

どうぞたくさん聞いてください。

(○生涯学習課 菊池)

何名か、手が挙がっている状態になっておりましたので、順番でよろしいでしょうか。手が挙がっておりましたので、ご発言をお願いいたします。

(○参加者 3)

今の政策立案とか、図書館理念とかっていう話があったんですが、それは私はあまりそういう難しい話は余り考えたことはないですし、個別に聞けばいいんじゃないかなと私は思っております。あと発言者の方自身、どういうふう考えてるのかっていうのもですね、この場じゃなくて、この場は皆さんの意見を聞く場所なんだから、私はそういうことについて、余り聞きたいと思ってませんのでね、それぞれ皆、意見が違うものですから、この場ではなくても、聞きたいことを直接聞きたいのかなと思います。ちょっと失礼な言い方で大変申し訳ありませんけれども、私はそう思いました。以上です。

(○市川生涯学習部長)

では、順番に。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございます。続きまして手が挙がっておりましたので、お願いいたします。

(○参加者 7)

毎度お騒がせで申し訳ないんですけども、建設的な話をね、2点したいと思うんです。市民から広く意見を集めるっていうことが重要だと思うんですけども、ここ1週間ほど、参加者の方から図書館不要論とともられかねない、一部だけ取り出すとね、そういう意見もネットで出されておまして、それ本気でね、図書館いらないんじゃないかって言い出しかねない人が花巻市民に多いと思うんです。実は、図書館に縁がない、全く図書館を使わない生活をしてきた人にとっては新しい図書館ってどういうものかっていうイメージも、湧きにくいと思うわけですよ。そこで、前々から市川さんにお話ししてましたけども、例えばご自身が岐阜市立図書館とか武蔵野プレイスとかをはじめとして全国の先進図書館を10か所以上回ってこられたと。そういったことをですね、市民にプレゼンして、図書館ってどういうものかっていうことで、意識を高めてもらいたいっていうこと。お話しはしてますけども、あんまり市川さんそういうことは、いや、やるお考えがなさそうなので、ちょっとね、生涯学

習課の働き方改革にもなりますけれども、部長とか課長クラスって風当たりが強いですよ。上田風っていうのが、ビュンビュン吹いてまして、今日は、幅下さんがいますね。とてもね、幅下さんあたりの方が立ち位置としてはね、非常に絶妙じゃないかと、ある程度経験を積んできて、マニフェスト研究所でもね、勉強されてきてるんですよ。あと成人式のプロジェクトにも関わって、20 歳前後の人たちとの人脈が結構つくられていると。そういった若手の人たちが中心になって、どんどん情報を発信していくと。情報から到達させるだけじゃなくてその図書館というものに、若い人たち、それから 30 代の子育て世代の人たちが、知見を持てるような、そういうことがね、生涯学習課の重要な仕事だと思うんです。市民を育てるっていうこと。図書館が要らないなんて話が何か現実的になってきそうな危惧を私は持ってまして。そうすると、生涯学習課も要らないじゃないかと。皆さんの立場も脅かしかねない。そんな事を思ってます。

それからあと、前回、参加者の方からのお話で、東和の図書館には数学やコンピューターサイエンス関連の蔵書が極めて貧困であるっていう、それで司書の方々のバックグラウンドどうなってるのかっていうお話でしたけれども、図書館の扱っている分野っていうのが、大変幅広いものですから、例えば司書の、司書さんが専門分野を担当してね、例えばこの人は、理工系に強いとか医学系に強いとか歴史系に強いとか、というふうに分担して、それで、蔵書の構成プロジェクトっていうのをね、やってほしいんです。例えば、ある利用者が新しい分野に興味を持ったとします。そのときに、自分は何を知っていて何を知らないのかっていう、自分の現在地がわからない。そういったものは分からなきゃいけないし、ガイドブック的なものでもいいし、例えば物理だったら、物理学史みたいな本もあるでしょうし、そうするとその次に、自分は何を読めばいいのか、そしてさらにその先何を知ればいいのかというふうに頭の中でネットワークが出来てくるんですね。それは、図書館の中に、蔵書のネットワークっていうのが有機的に出来てないと、そういった利用の方法は、難しいですよ。これが、いろんな分野について、私書架をじっと見てるんですけども、本と本のつながりは見えないんです。そこが実はね 1 番大きな、花巻図書館の問題だと思ってます。その場所がどうかね、建物をどうつくるのかっていうよりも、そういう視点が、行政のお話からは全然出てこないの、私が出てきて、ここで喋らないといけないっていう、ちょっと使命感みたいな、余計なお世話ですけど、思ってます。そこら辺、ちょっとね、積極的に生涯学習課が動いてほしいと思うんです。何をすべきかと、市民目線に立って、もう立場上ね、上田風が強い方々は、もう風よけになってもらって、思い切り職員に働いてもらおうと。そんな環境になったらいいんじゃないかと余計なお世話でしたが、すいませんそんな感じです。

(〇市川生涯学習部長)

ありがとうございます。前にお話いただいて、何かこう、私がプレゼンできれば、いいなというふうには思っております、若干まとめておいたんですが、それはいろんな風の影響ではなくてですね、なかなか進まないのとですね、やっぱりこのネットでやるのでは、なか

なか難しいところありますよね。やっぱり皆さんと顔合わせてというか、集まって出来ないっていう環境で、ちょっと参加出来ない、参加しづらいっていうのも言われてて、どうしようかなと思ってます。各団体などともこれから、少しずつですね、説明したりなんかする機会を設けたいと思ってまして。そういうところでこれまでの代表的なっていうかですね、図書館の例なんかを紹介していきたいなというふうに思いました。あとおっしゃるとおり、中身についてはですね、いろいろまたちょっとご意見いただきたいなと思っておりますんでそこはこれからですし、生涯学習課としていろいろもっとPRをするべきだっていうのは、いろんな面でも言われてますんで、考えていきたいなと思います。ありがとうございます。

(○参加者 7)

はい。期待してますんでよろしくお願いします。

(○市川生涯学習部長)

ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。次々手が挙がっております。昨日の夕方にメールをいただきまして、長文でご提案いただきておりましたけれども、今朝になってから出しましたので。

(○参加者 9)

私が説明してもいいでしょうか。

(○生涯学習課 菊池)

できれば、よろしくお願いいたします。

(○参加者 9)

何分いただけますか。では15分いただきます。文句がある人はもっと減らせて言ってください。ないようなので、15分いただきます。

まず私の提案は3つあります。第一の提案に関しては問題意識があるのは多分花巻市内で私だけのようなのでざっと流しますが、個人的には非常に絶望していると。実現の可能性はほとんどないんですが、その背景というか、私は昨年こっちに来てから、色々とちょこちょこ動き回ってまして、ちょっと面白い情報をちょっとお伝えしようかと。あんまり細かく言いすぎるとやばいんですが、花巻北高校という進学校ですかね、花巻ではね。隣に黒沢尻北高校があります。多分県で一番なのは盛岡第一高校ですかね。これらの教科書のレベルを調査しました。普通は公開されてるんですが、なぜか隠したい学校も多いようで、まずざ

っと申し上げますと、客観的に判断して、1 番が盛岡第一高校、第 2 が黒沢尻北高校、ここまでは首都圏の普通のレベルですかね。そこからがたっと下がりがして、花巻北高校 3 番目、4 番目が花巻東、5 番目が花巻南、これもかなり下がります。さらに、色んな意味で下がって、6 番目が花北青雲高校。そして、地の底まで下がっているのが、花巻農業高校。なぜ地の底まで落ちてくるかっていう理由は、ちょっと色々問題があるので話しませんが、多分宮沢賢治も草葉の陰で泣いているでしょうね、これはね。ついでにちょっと宮沢賢治つながりでもう一つ話を、1 番に関してはちょっと提案しても無理だと思うので、言いたいことを言って終わります。次は、1977 年 9 月号の数学セミナーの 16 ページに、熱心な数学者って非常に少ないですけども、遠山哲さんという方、水道方式というのを聞いたことある方、いないかな。それで宮沢賢治っていうのは文学者として認識されてるんですけど、実は数学好きの中で好きなファンが多い、学者の中にもいるわけですよ。いくつか理由があるんですけども、遠山哲さんのエッセイでは、当然例の友人が病気になって仕事ができなくなったので、宮沢賢治は、ある数式で友達を救ったわけです。これは非常に有名な話なので、宮沢賢治の研究家と称される方は知ってると思うんですが、そのエッセイの最後の方を読みますね。日本の文学者には非常に数学嫌が多いと。むしろ数学嫌いを誇りにしているようなとんでもない人間が多いと。中略。宮沢賢治にはそんな態度は全くないと。だからこそ、宮沢賢治が最後に病床でへたれきってるときに数学の本を熱中して読んだというのが有名な話ですが、独学でかなりのレベルまでいったんじゃないだろうかって、その理由を挙げますと。第一に彼の作品が、すみずみまでみなぎっている宇宙的な意味合いとかそういうものを扱いますね、スケールが大きい想像力、それが一番目。もう一つは、もちろんそのスケールが大きいっていうのは、数学にとっては必要な能力ですからね。第二は、並外れた集中力で、遠山哲さんの例えによると、いわゆる炭素原子っていうのは高圧をかけるとダイヤモンドに結晶化させられますよね。そういう意味合いの精神的集中力があるんじゃないかと。それをクリアしていくことで、きっと文学者としては珍しく数学に理解がある。もし彼が、非ユークリッド幾何学に基礎を置くアインシュタインの宇宙論、例のあれですよ、に対してそれを理解していたら、「銀河鉄道の夜」をもっと凌駕する素晴らしい作品を残していたんじゃないか、として結ばれています、このエッセイは。このエッセイは私が高校の頃に読んだので、若干印象に残っているので、そのエッセイは捨てないであつたんですが、ここからが面白い話で、岩手の在住の下町壽男っていう方がいらして、この方は数学の教育に熱心な方だということで、私は知りませんが。ちょっと前まで北高の校長だったのかな。ブログを見ると面白いことが書いてあって、宮沢賢治記念館に行きましたと。彼の数学ノートっていうのが、なぜか消えていたと。以前は展示されていたのにね。なぜ無くなったんだろうなあみたいな話が書いてあって、そのノートには、宮沢賢治が 12 個だったかな、12 個ぐらいの直線の方程式を考案したかどうかは分からないんですけど、記していたと。非常に私も見たかったんですが、なんで展示から外すんでしょうねと不思議だったので、さっそく宮沢賢治記念館に電話で事情をお聞きしたんですよ。のらりくらりと訳の分からない議論が続いて、私

あの 61 歳なので血圧の薬を飲んでますから、これ以上電話続けると血圧が上がってちょっと危ないというので、あまりに怒り狂ってそれ以上話すとやばいので電話を切りました。そんなことがありました。それで提案 1 に関して、文句ばっかし言っているとどっかの国の野党になってしまいますので、じゃああんたに何かできるのかということ、必ず言うべきだと私も。でもどうやって提案 1 に関して私ができることの一案は、既存の図書館のコンピュータ・サイエンスと数学に関してはある程度客観的なレベルで評価ができますし、文章で書いてもあまりコンピュータ的に検索する意味がないので、いくつかの基準で 5 段階くらいの評価ができると思います。というのも実は簡単そうに書いていて難しい、難しそうに書いて簡単というのはなかなか見破れないと思いますから。2 番目は、司書の方を対象としたコンピュータ・サイエンスの講義をしますと。これはコンピュータ・サイエンスをゼロから教えるっている意味ではなくて、図書選定において必要なギリギリのラインを教えます。丁寧に、分かりやすく楽しく教えます。このことは、ある程度、例えばコンピュータ・サイエンスというパソコンの雑誌と何が違うかくらいは分かっていたきたいなと思います。これが一番の提案です。もうこれ当然実現する可能性はほとんどゼロなので。このぐらいにしておいて、提案は 3 まであるんですけども、提案 2 にいきます。

提案 2 は、書店との連携はどうかなと思ってますね。話は変わりますが、私は東和町の土沢ってところに生まれて当時 1 キロぐらいの商店街の中に本屋が 3 軒あったんですね。私が小さい頃は非常にすごく恵まれた環境でしたね。その代わり図書館はなかったですね。その 3 軒の本屋があって、その中の 1 軒で買ったブルーバックスの 1 冊は今だに僕の本棚に残っています。非常に、ただし今の東和町土沢って行かれたことがあるかどうか分かりませんが、図書館に行かれたことはあるかもしれませんが、ぜひみすぼらしくなって落ちぶれた商店街を見て笑っていただきたいと思うんですけども、ここまでひどくなるのかという。本当にどうしようもない。その中で、同じアパートに住んでる高校生がいるんですが、ちょっと話を聞くとどこで本買うの？と、当然本屋はないですから、一軒も。花巻のエムズ書店で買うなんて言ってて、Amazon なんか使いますかって聞いたら使ったことはない。意外と Amazon とかネットに関して意識が高いと思っている方はかなりいるようで、せめてそこが使えればすごくいいのに、本屋がなきゃ、図書館はまああるんだかどうか知りませんが、あとは特定の分野の本は多いんでしょうけど、漫画とかね、非常に充実してますが。それで、Amazon に関しては、この 2 番の提案に関しては若干問題があるんでちょっと。かなり私 Amazon のヘビーユーザーなんですけど、毎日 2 件、去年から半年暮らしましたが、毎日平均 2 件頼んでるかな。うち書籍っていうのは週 5 日で 1 冊くらいですかね。そういう感じでヘビーユーザーで、特にこっちに帰ってくるともうどうしようもないので。書籍に関しては私の住んでる 2 階のゾーンっていうのは高齢者が多くてですね、60 歳の私が一番ヤングなんですよね。それであそこの人はネットで注文できるらしいよみたいみたいな感じで隣のおばあさんとかの本の注文をしてあげたりして、そういうのは意外と商売になるんじゃないかなと思ってんですが、私が言いたいことは、書店と図書館が連携してはどうか、

ただ Amazon は今書店の敵ですから、そういうことをやっちゃ意味はないので、つまりその書店を救いつつ、救うというのは非常に申し訳ない言い方ですけども、応援しつつ、win-win で図書館でもやる、とここはちょっと大ざっぱで具体的に考えはないんですが、考えはいくつかあるんですが、あまりそういうことを言うと。アルテマルカンの店長さんにちょっと電話して相談してみました。ふざけたことを言うなと一喝されるかと思ったんですが、意外とエムズ書店の店長さんは好意的で、今日話すからあとでまたどうなったか教えてくださいなんて。エムズ書店さんに私が興味を持った理由はもう一つあって、そのことをぜひ聞きたかったんですよね、エムズ書店に関してはそれほど広いわけではない、理系の本は充実してるわけではないし、さらに数学の本も冊数としては非常に少ないんですけども、なんと私はそこで 4 冊つられました。どうしてもこれは買わなければいけないという素晴らしい本が 4 冊ありました。とりあえずその 4 冊は買ったので、どう考えてもそれは、誰もこれに食いついて買わざるを得ない本を、まあどういう意味で買わざるを得なかったのかは説明しませんが、どうしても買わざるを得ない本を置いたと。詳しく聞くと、エムズって店長さんが選んだわけではなくて盛岡に支店があってそのへんの注文履歴か何かが影響しているんじゃないか、みたいなことを聞きました。何せエムズの方も、図書館に行けば何か本が手に入る、図書館で借りた本があってこの本面白いね、ぜひ欲しいとなることは当然なるはずだし、絵本なんかに関しては本来子供が落書きしますから、絵本は展示用としてはいいんですけどね、絵本なんてものはちゃんと親が子供に買って与えるべきだと私は思っていて、しかも子供は汚れますけどそれでいいです、親がちゃんと読み聞かせしてあげるべきですね、絵本なんてのは。だから、展示用として使ってあとは絵本気に入ったやつは買う、これくださいの一言で図書館がサービスする、司書も普通の業務範囲をはるかに超えた大変な仕事になると思いますけれども、そこまでやっていただきたい。それくらい司書って非常に重要な立場で、図書館の 1 に蔵書か 2 に司書かって言ったらどっちもどっちで司書としてすごく誇りを持つべきで、これが私の蔵書だというくらいの誇りを持ってほしいんですね。それで、さあ私の本を見てくださいというような気概が欲しい。色々なサービスがあります。これは岩手県は非常に人が少ないので、そういうことができるんじゃないかなと思ってますが、ちょっとこれも雑な話ですけども、もうちょっと店長さん興味があるようなのでいつか話をしたいかなと。提案 3 です。

これは一番どうでもいい話なんですけど、どうでもというか、多分これで面白いと思う人は少ないかと思うんですが、貸出履歴という、昔は本を借りると面白いことに本の後ろに堂々と誰が何月何日に借りたかというのがあったわけです。あの履歴っていうのはなかなか面白くて、あそこから愛が育ったみたいなライトノベルがありますが、そういう面白い情報が公開できるんじゃないか、今個人情報なんたらかんとらのくだらないあれで当然そういうことできないんですが、逆に考えるとあれが電子的に処理できるっていうことは非常に可能性があるんですね。貸出履歴情報っていうのは。貸出履歴情報を活用しようという研究っていうのはかなり面白い論文があって、こういうのは古い論文からあたる方がいいん

ですが、2009 年の図書で、タイトルを言うと「図書館の貸出履歴を用いた図書の推薦システム」というタイトルの論文が 2009 年にあって、原田さんという方の。チャットで URL を…。まあ興味がある人は探せばいくらでも出てきますが、これはそのいわゆる図書館履歴をレコメンデーションシステムをつくったという、レコメンデーションシステムと言うのは難しい考えで、いわゆる Amazon のこんな本はどうでしょうって勧めてくる、ああいうシステムがあるんですね。それをやってみますという話。この論文はそれをできるまで、そのシステム自体も面白いんですが、すごく色々面白いことが書いてあって、たとえば学校図書館においても読書指導の一環として児童生徒に、卒業の時にね、卒業したらその貸出記録っていうのはいらないわけですから、それを「あなたはこの本を読んできた」としてプレゼントするという活動を行ってる学校は多くあるとかで、花巻の学校ではいかにもやってなさそうなサービスですよ。面白いなあ。あと、貸出記録というのは色々使い勝手があって、非常に論文は面白いのでぜひ読んでいただきたいですね。それで協調データというのをを使って、おすすめの図書だと、これを実際にやっているのが、誰だったっけな、早川光彦さんという方に電話かけて相談したんですけれども、富士大学の方かな、関係していると言っていました。以前図書館の館長さん、早川光彦さんっていう方の話ではそのレコメンデーションシステムを実現していて評判がいい図書館があるよということで紹介していただいたのがいわき総合図書館です。実際使ってみると、検索してこういう本がありますよと関連図書として出てくるんですね。これどうやってやってるかというというのは置いておいて、非常に評判がいいひとつの理由は、レポート課題とか出されたときに関係あるような本を拾えるわけですからね、それで評判がいいという。調べたらいわき図書館だけでなく色々なところ、岩手大学の図書館でもやってたんですよ。私のこの提案は、こういう貸出履歴っていうのは非常に極秘だなんだって騒ぎますが、つまりこれを花巻市としては一種やるわけですね。やるっていうのはあれです、どこかのやる気のある研究室とタッグを組んで、あまり公に公開するとやばいですから、信頼のおけるやる気のある研究室とタッグを組んで、そこだけで完全に公開する。公開といっても実名は当然ふせることは可能ですから、個人情報が出るわけではありません。いくらでも可能性があると思うんですよ。個人情報の履歴に関する研究を調べると、大したものではなくて、せいぜいレコメンデーションシステムなんです。ここで、ひとつ面白いんじゃないかと思うのが、ここからコミュニティーの検出をしたらどうか。高校生へのさっきのアンケートで、知らない人に出会えて面白かったと、これはある種受動的にコミュニティーを提案する、されるわけです。つまり、もし図書館に人格があったとしたら、図書館から見る人間っていうのが、似たようなコミュニティーに抵抗があるという人は似たような人種に見えるわけですね、そういった意味でコミュニティーを作ると。そのコミュニティーを提案すると。実名を出すわけではないんだけど、そのコミュニティーが大きければ、そのコミュニティーに参加してお茶会でもしようというようなコミュニティーが自動的に検出されていくわけです。そういう使い方のいくらでもアイディアはいくらでもあると思うんですよ。研究室でそういうタッグを組むと。研究テーマが一つあると、そ

の研究室で何年にもわたってソフトを開発したり研究費をいくらでも出すわけです。その成果をすべて花巻市に提供するという条件で提出する、そうすると win-win で結構面白いことができそうだなと私は思っています。提案3に対して私が協力できることは、貸出履歴の利用に関する文献調査をもう少しやってもいいんですが、生涯学習課さんからやってくださいというメールが一通でも来たらいつでもやりますけれども、来なかったらもうやめます。研究室探しも、可能性として調べてくださいという要求が生涯学習課さんの方から来たらあちこち、一関高専とかも AI はわりと深いことをやってる人がいるんですね。絡ませても面白いかなと思ってるんですが、こうまでいったら、当然私は行って色々交渉してきます。その研究室もその程度で言ったら普通技術的なものはあると思うんですが、もしなかったら私が技術的なサポートもできます。これで15分くらいですか。これで終わりです。失礼しました。

(○市川生涯学習部長)

ありがとうございました。3つ提案ということで、1番目の選書等については検討させていただきたいということなんですが、ご意見としてお聞きしましたし、2番目の書店との連携ということなんですが、いわゆる TSUTAYA 図書館、CCC というところがやっている図書館などは、本を扱っているので、売ったりってことはできるんですが、そこは良し悪しかなと思ってますし、今まで私が見てきた図書館の中でも、将来的に欲しい本がたとえば簡単にバーコードなんかで発注できるようなシステムができないかって検討している図書館もありました。そういうところもあるので。

(○参加者9)

思いのほか地元に帰ってきて、親戚の方ははるかに頭のいい方なのにパソコン使ってなくてびっくりするんですとかそういうのもあって、ハードルが高いんですよ。だから、この文献が欲しいっていう人は国会図書館から探してくれるとか、国会図書館以外あまり図書館使わないんで、非常にその漠然とした方法で文献探すっていうことも、国会図書館の存在すら知らない人も多いかもしれない、そのことも教えて。宮沢賢治で検索するともものすごい数出てきますからね。賢治研究家も、国会図書館をぜひ積極的に使うべきではないのかなとは思ってますよね。国会図書館使うのハードル高いですから、そういうのも必要じゃないかなと思います。

(○市川生涯学習部長)

わかりました、ご意見としてお聞きいたしました。大変ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。すいませんちょっと時間も限られてきておりましたので、ここ

からは大変勝手なんです、まだ発言されてない方にさせていただければと思います。大変お待たせしておりました。ご発言をお願いいたします。

(○参加者 1 2)

はい、私のほうからは、まず 4 点ありますが、まずは、車で来る方が多いと思いますので、車社会に配慮して運転に不慣れな方でも止めやすいような駐車場にしていきたい。立体駐車場というような駅前だとそういう話もあるようなので、そういうときに止めやすいような駐車場だといいなと思いました。あと、先ほどの方のお話とちょっと絡むかもしれませんが、ちょっと検討違いかもしれませんが、早めに管理者とか運営者を決めてしまって、基本設計から管理者が参加する、こういうことはどうなのかなと思います。いわきにアリオスという文化施設がありますが、あそこは使いやすいという評価を受けているのは、基本設計から運営者が入っていったということが挙げられています。ですからそういうことも方法としてはあるのかなと思います。あと、3 番目ですが、公共文化ホールの併設という声もありますが、あとそのいろんな複合施設という話もありましたけれども、複合施設を建てたときのランニングコスト、将来どれだけかかっていくかというのを、盛り込んだら盛り込んだだけかかっていくと思うので、そこはちょっとやはり検討するべきかなと思います。文化ホールはやっぱりやるなら本気でやらないと駄目かなと思います。例えばなはんプラザのホールを、COMZ ホールを、音楽ホールとして使うかと言いますけれども、正直隣に線路があって、サッシ 1 枚で文化ホールかっていうと、なかなかちょっと、あそこは優秀なイベントホールだと思いますけれども、やっぱり NC 値とか含めてそのノイズの事とか含めて本気でつくらないと、中途半端なものをつくってと言われる可能性があるのかなという気はします。で、最後ですが、市全体の公共施設アセットマネジメントみたいな形で、現時点で保有する全公共施設の中で、何か事足りていることはないか、そういうのを補完出来ないかこの際、図書館建設に際して、補完することが出来ないかという視点も持ってみてはいかがでしょうか。例えば、総合体育館では、大会時に、諸室がないということをよく主催者の方おっしゃる方いるようです。総合体育館を増床することは難しいでしょうから、そうすると、1 月 28 日の方のお話にもありましたけれど、図書館に来る仕掛けがあったほうがいいんじゃないかとか、あと今も話ありましたが、市民の関心がない、何か呼ぶ方法はないのかということもありましたけれど、その中で、既存のトレーニングルーム、総合体育館のトレーニングルームを図書館に併設して、文化健康の生涯学習施設とするというのがあるかなと思います。今や生涯健康でいるのは当たり前なので、トレーニングルームも相当高齢の方がいらしてるようです。図書館には逆に小さなお子さんが相当集まるので、世代間交流も出てくるのかなと。また、図書館もトレーニングルームも既に人が通う所ですから、中心市街地の活性化とかそういうこと、人が集まるということにも寄与するのかなという気がしますし、今の総合体育館のトレーニングルームだと、コロナ禍ででちょっと手狭かなという気がします。トレーニングルームに隣接することで、総合体育館は諸室を確保出来て、そこは多目

的スペース、ダンスの練習するようなところに使え、ふだんは使えるでしょうし、あとはそういうことであれば、文化ホールとは違って、トレーニングルーム程度であれば、部屋があればオッケーなので、将来用途変更を考えても、何か変更はしやすいのかなということであり、あまり負荷はないのかなと思います。そのジムに来た人がちょっと本でも読もうかなとか、トレーニングにきた人がですね、図書館に来た人が逆に、ちょっと健康づくりを始めようかなとか、そういう可能性も出てくるでしょうし、両方とも個人が利用する、個人利用が主ですから、親和性があるのかなという気はしています。以上です。

(○市川生涯学習部長)

はい、ありがとうございます。ご意見としてお聞きするということによろしいでしょうか。

(○参加者 1 2)

はい。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。続きまして手が今挙がってましたのでご発言をお願いいたします。

(○参加者 2)

はい、では、最後になると思いますけれども、一つだけお願いというか要望、なんですけれども、さっきのですね図書館理念、あるいは政策決定過程は、直接本人、聞いたほうがいいとか、なじまないという話がありましたけれども、その一環としてですね、ちょっと見方を変えてですね、図書館について一つ私の私見というか、一つの提案みたいな、一つの見方というか、実はさっきのパワーポイントの中にもありましたけれども、図書館の立地場所の一つにですね、新興製作所跡地、いわゆる東公園という候補地も載ってましたけれども、実は私も実は東公園派の 1 人でありましてね。市川さんがですね、先ほど基本構想の冒頭で、図書館の理念みたいなことに触れた部分でですね、いわゆる花巻のまちづくりの先人の鶴陰碑のことに触れられました。その鶴陰精神をですね、図書館の構想の中にも活かしていきたいと、将来の図書館像の中にですね、ところでご存じのように鶴陰碑というのは今、博物館に移設されてるわけですが、現在、その鶴陰碑、いわゆる東公園、元ですね花巻城跡に公園化された東公園のですね、下にですね、猛毒の PCB が不法に放置されているということが、去年明るみに出ました。ご存じのように東公園の、その下に、不法に放置されてる PCB は、カネミ油症事件の原因物質でもあります。それは市長も認めてるわけですが、取りあえずその除去、市民の安心安全にですね、重大な影響を及ぼしかねない PCB がですね、東公園の直下にあるということ、これは市政課題のですね。第一優先課題にならなきゃいかんと。ところが、説明すれば長いんですけども、実はこれ、今、市有地じゃないんで

すね。市有地じゃないから、いわゆる第三者、ある種、仙台の不動産業者が、所有権を取得して、いろいろあった中でこういう PCB の不法投棄という事態に至ってるんですけども。実は東公園は、大石市政時代ここに図書館をつくろうという構想もかつてあった場所なんですけれども、話はちょっと込み入りますけども、PCB の除去をするために、この東公園の敷地をですね、市で買い取るというような考えは市の内部ではないでしょうか。さらにですね、それから、図書館立地のですね候補地の一つとして、それを検討課題に入れていくという考えはないでしょうか。その辺、聞かせてください。

(○市川生涯学習部長)

はい。私の分かる範囲での回答になりますけども、PCB はですね、地下に不法投棄されてるっていうのは私聞いておりません。PCB、つまりトランスとかですね、コンデンサーで使ってたものというふうに考えてますが、それは保管してるというふうに聞いています。その保管しているものを、処分をしなければいけないと。建物の中で保管してるというふうに聞いております。ので、その場所を買い取る必要はないと思いますし、あの場所につきましてはですね、詳しくは私もわからないところもありますけども、建物の撤去後の今の土地を、建物壊したままになってますけども、それを撤去したり、活用するためには、これも議会や市民の皆様にも説明会を開いてるっていうふうに聞いてますが、14 億でしたでしょうか、十数億かかるというふうに計算してて、現在のところは、市で買うということは考えていないというふうに、聞いております。

(○参加者 2)

ちょっと市川さんの誤解だと思いますけども、部署が違うとですね、ほかの部署のことはわからないということもあるかもしれませんが、実は、法的に認められた適法の状態で保管場所に保管されていたんです。実は、去年の暮れまでは。ところが、その保管場所から撤去を命じられましてね、業者が、いわゆる不動産業者がひそかにですね、東公園の地下の部分にですね、ひそかに運び込んだと。それで管轄の県の衛生部のほうもですね、法に基づいた立入り検査をするべく、何回も要請してるんですけどもそれがですね、相手が相手ですんで、もう全然つかまらないうと。いわゆる県のほうも不法状態だというふうに認めざるを得ない状況であるんで、実際にですね、その私有地は花巻市の鳥谷ヶ崎神社の下に位置する一等地ですね、そこに猛毒の PCB があるということは、市政の、市民の安心安全を除去するという市政課題の第一目標だと思うんで、その辺も含めてですね、僕は垣根を越えてですね、かつて東公園には鶴陰碑もあったと、あるいは図書館の候補地にも挙がったことがあるという経過も踏まえて現状をどういうふうにすればですね一番改善できるのかどうかをですね、いわゆるセクショナリズムじゃなくて、僕は部署をこえてですね 1 回検討していただきたいと、それはお願いしておきます。市川さんの今のその認識は間違ってますから、場所をね、前は鳥谷ヶ崎神社裏の喫茶店にあったんですよ。そこらないんですね。そこから

ひそかにですね、いわゆる鶴陰碑があった東公園の下のある種の構造物の中にですね、運び込まれたらしいんですよ。本人はあそこに運び込んだと言ってるらしいんですけども、立ち会ってですね検査したいと言っても、本人が捕まらない、いわゆる不法状態が続いてると、PCB のですね。それは市として市民の安心安全の観点から早急に関係者、市長も含めてですね、話し合っていたきたい。図書館と直接関係ありませんけども、いわゆる鶴陰碑という由緒あるですね、場所のお話でひょっとすれば、市民の意見の中に、そこが図書館の適地かもしれないという意見も出てくるかもしれない。そういう意味で、検討していただきたいと考えている。以上です。

(○市川生涯学習部長)

はい。今の PCB につきましては私が申したとおりしか私はわかりません。そのほかにつきましては意見としてお聞きしますが、図書館についての場所を検討する中でのご意見ということですね？

(○参加者 2)

だからそういうことで事実確認がそれぞれの部で出来てない。それは、さっき何回も言うように PCB っていう猛毒の話だから、部署をこえてですね、善後策を考えていただきたい。これ市全体、つまり上田さんのマターの話ですけどね。そういう中で話を広げてください。

(○市川生涯学習部長)

ご意見としてお聞きします。ありがとうございます。

(○生涯学習課 菊池)

ありがとうございました。それではですね、皆様大変貴重なご意見、ご提案大変ありがとうございます。12 時過ぎてしまいまして、本日のところは、すいません、お時間とさせていただきますと思います。最後に事務連絡をさせていただきます。ちょっと表示を切替えますので、お待ちください。それでは皆様改めまして、本日は大変ありがとうございました。